

生活協同組合くまもと

安心して暮らし続けられる地域社会づくりに積極的に参加し、
多様な人々が共に暮らし、健康で笑顔になる活動を進めます。

【取組み内容】

2019年第98期通常総代会で採択された「**生協くまもとSDGs行動宣言**」に基づき、取組みを進めています。

「誰一人取り残さない」をテーマとしたSDGs = 協同組合の理念

私たち生協の活動こそがSDGs達成に向けた取組みそのものだと考え、
今回はその中から5つの取組みをご紹介します。

①**地域コミュニティづくり**…「子育てひろば」や「おしゃべりひろば」への参加を募り、幅広い世代との対話を大切にする地域に密着した活動を行っています。



子育てひろば



おしゃべりひろば

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	生協のお店を拠点に、防災訓練や防災イベントの開催など、地域の防災・減災活動に取り組む。また、県内の関係団体と連携した支援活動が実行できる体制・関係づくりを進めている。
包摂性	サロン活動(こーぷ喫茶)は熊本地震を機に214回取組み、子ども(地域)食堂は延べ65回1,929食を提供、お買い物サポートカーは現在約200名にご利用いただくなど地域の方々の支援につながっている。
協働性	行政や社協、NPO法人・ボランティア団体と連携した協定の締結で関係性を強固なものとし、県内では「火の国会議」へ定期的に参加し、平時での関係強化も図っている。
統合性	「SDGs行動宣言」を掲げ、事業と活動の両面においてSDGs達成のための取組みを進めている。
透明性	「生協くまもとSDGs行動宣言」に基づく活動は、一つ一つがSDGs達成に向けた取組みとなっており、その活動内容は機関誌やホームページ、フェイスブック等で発信し、共感を広げる広報を行っている。

貢献するSDGsのゴール

